

麻疹(はしか)流行に伴う、患者さんへのお願い

【患者様へ】

現在、県内で麻疹(はしか)患者が増加しています。皆様には以下のことを確認していただきますようお願いいたします。

麻疹(はしか)を疑うような症状(高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等)が現れた場合は、事前に病院に連絡し、麻疹(はしか)の疑いがある事をお伝えください。

また、麻疹(はしか)は感染力が強く、空気感染するため、手洗い、マスクのみでは予防できません。ワクチン接種が最も効果的な予防法ですので以下の予防接種等を確認してください。

〈確認事項〉

- ① 2回の麻疹ワクチン予防接種を受けている。
- ② 過去に麻疹にかかったことが明らかである。
- ③ すでに発症予防に十分な麻疹抗体価を保有している。

※①から③のいずれも当てはまらない方は、かかりつけ医療機関に相談の上、麻疹ワクチンの接種をご検討してください。尚、当院では小児科以外の麻疹ワクチンの接種は行っていません。

麻疹(はしか)とは

主な症状	38℃前後の発熱が2~4日間続き、咳や鼻水といった感冒症状が出ます。その後、高熱が出るとともに、発疹が出現します。その後、多くは7~10日で症状が回復します。肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1000人に1人の割合で脳炎が発生すると言われています。
感染経路	空気感染・飛沫感染・接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その感染力は非常に強く、感染する期間は発症の1日前から解熱後3日頃までとされています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています。
潜伏期間	約10日~12日間(最大21日間)
治療法	特異的な根本療法はなく、対処療法を行います。
予防方法	麻疹は感染力が強く、手指衛生、マスクのみで予防はできないため、麻疹の予防接種が最も有効です。麻疹罹患歴がない方、麻疹ワクチンを2回接種していない方は、予防接種を検討することをお勧めします。当院では小児科以外の麻疹ワクチンの接種は行っていません。